

鳴水

第20号

学力特集号

令和3年12月10日
北九州市立鳴水小学校
校長 梶原 秀朗

【学校教育目標】

かしこく（まなびの花）
心豊かな（おもいやりの花）
たくましい（げんきの花）
子どもの育成

令和3年度全国学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和3年5月27日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語、算数）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

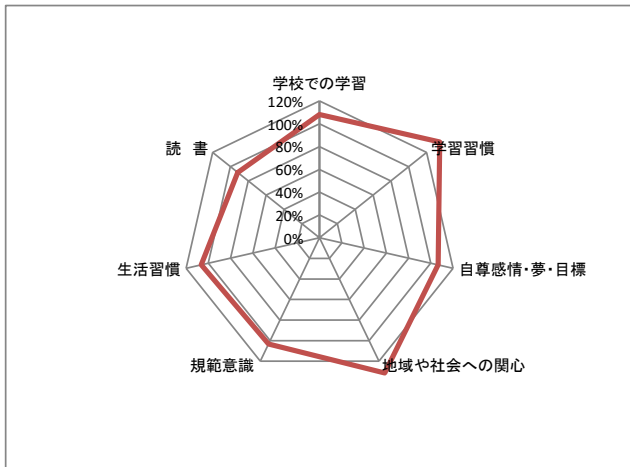
学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思っております。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 教科に関する調査結果の概要

教科・区分	学力調査の分析（傾向や特徴）	全国平均正答率との比較
国語	<ul style="list-style-type: none"> 全体的に全国平均正答率を下回っている。領域では、（思考力・判断力・表現力等）の「書くこと」の正答率が良かったが、「話すこと・聞くこと」の正答率が低かった。 全ての問題で無回答率は、全国平均より低く、自分の考えを回答しようとする意識が高い。 	下回っている
算数	<ul style="list-style-type: none"> 全体的に全国平均正答率を下回っている。「測定」領域は他の領域より比較的正答率が高かった。「図形」領域は、正答率が低く課題が残る。 ほとんどの問題で無回答率は、0%もしくは全国平均よりも低い。 	下回っている

2. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



質問紙調査の結果分析

- 自分で計画を立てて勉強することや、家庭学習時間を確保することができることから、進んで学習に取り組む姿勢ができています。
- 地域や社会に関心が高い児童が非常に多く、自分たちが大切に、されていると感じていることがうかがえる。
- 「いじめは、どんな理由があってもいけない」という規範意識が育っている。
- 自己肯定感があり、夢や目標をもって生活できている。今後も自分のよさや頑張りを自覚させる取組を充実させる。
- 読書活動に関しては、本を読む児童は増えてきたが、読書の時間は全国平均を下回っている。今後も本に親しむ取組を継続していく。

3. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組

- 言語力を高める取組として、読書の時間の確保や各教科で資料を使って自分の考えを伝える場面を多く取り入れる。
- 今後も話し合い活動などを通して、自分の考えを整理しながら表現していく学習を進めていく。
- 図形領域等の系統性を再確認し、授業の中で振り返りを交えながら、学習を進めていく。

② 家庭生活習慣等に関する取組

- 家庭や地域と密に連絡を取り合い、保護者との共通理解を図る。
- 朝自習や子ども読書の日等を活用したり、家庭への啓発を通したりして、持続的な読書習慣の定着を進めていく。
- スマホ等を安全に使用するための学習や外部講師を招聘しての学習会を実施する等の啓発活動を今後も継続する。